

## ●製品による環境への貢献



# 美しい地球を次の世代に引き継ぎます

地球規模での環境保全の必要性を深く認識し、  
企業活動のあらゆる領域で環境負荷低減を進めます。

## TOPICS

## デンソーテングループ エコビジョンを制定

デンソーグループの一員として、ベクトルを合わせ一体感を持った活動を推進するため、2017年11月に、従来の「地球環境憲章」と「環境中長期VISION」を統合する形で、新たに「デンソーテングループ エコビジョン」を制定しました。

このエコビジョンでは、2050年の温室効果ガスゼロミッションをコミットするとともに、その達成に向けた2025年の目標として、「工場のエネルギーハーフ」や「有害化学物質の影響や廃棄物・水使用量の半減」、「環境に貢献する事業の推進・製品開発」などを掲げました。

これに伴い、デンソーグループの環境行動計画および当社を取り巻く環境変化を踏まえ、2018年7月に「環境取り組みプラン」を見直しました。

### デンソーテングループ エコビジョン (抜粋)

#### I. コミットメント (～ 2050年)

デンソーテングループは、環境と経済の両立が経営の重要課題と認識し、全ての企業行動を通じて、環境・エネルギー問題の解決と自然との共生を図り、人と車と環境のよりよい関係づくりを推進します。また社会が直面する重要環境課題に果敢に挑戦し持続可能な地域・社会に向けた、新たな環境価値を創造し、地球を守り、次世代に明るい未来を届けます。

コミット2050:温室効果ガスの人為的な排出と吸収のバランスを達成する(ゼロミッション)

#### II. 環境方針 (～ 2025年)

ターゲット3	基本方針	コミット2025
エネルギー1/2	地球温暖化やエネルギー・資源問題を解決する技術で、地球環境の持続的な維持に貢献します。	・車のCO <sub>2</sub> 半減に貢献 ・エネルギーハーフ推進
フリーン×2	全てのステークホルダーの皆様に安心して頂けるよう、順法はもとより、継続的改善を進め社会と共に成長する企業であり続けます。	・有害化学物質の影響や排出物・廃棄物・水使用量の半減を推進 ・自動車の排出ガス低減技術の開発
グリーン×2	豊かな自然を次世代に引き継ぐため、自然との共生を目指した企業活動を通して、自然の叡知・恩恵を分かち合う社会を実現します。	・環境に貢献する事業の推進・製品開発 ・緑化の推進

**W E B** デンソーテングループ エコビジョン

**W E B** 第8期デンソーテングループ 環境取り組みプラン

#### Voice 従業員の声



2020年以降の地球温暖化対策の国際的枠組みを定めたパリ協定にて、21世紀後半には温室効果ガスの排出を実質ゼロにすることが目標となりました。

そこで、デンソーグループとしては2050年に温室効果ガスの排出ゼロ達成というチャレンジ目標を掲げ、2025年にエネルギー1/2の実現に向けたビジョンをテングループとしても制定しました。

これは今までのやり方では達成し得る目標ではありません。地球のため、未来に生きる子どもたちのために、企業として「できることをやる」ではなく、「達成するためには何をすべきか」という考え方でテングループ全員が意識を変え、目標達成に向けて取り組みます。

コーポレートセンター 地球環境室長 若林 祐幸



## グリーンプロダクツ

製品の環境負荷低減を図るため、法規制のある物質や材料を使わないよう設計部門にて製品環境アセスメントを実施しています。

さらに、製品自体の省電力化、小型・軽量化などの評価を実施し、一定基準をクリアした製品を「グリーン製品」と定義し、グリーン製品の中でも環境配慮のレベルが自社あるいは他社の製品と比較してトップグループレベルにあるものを「スーパーグリーン製品」とする社内基準を整備してエコデザインを推進しています。

2016年度からは「機能そのものが環境負荷低減につながる製品（環境貢献製品）」も社内基準に含めました。

### TOPICS

## マルチアングルビジョン用ECUをスーパーグリーン製品に認定

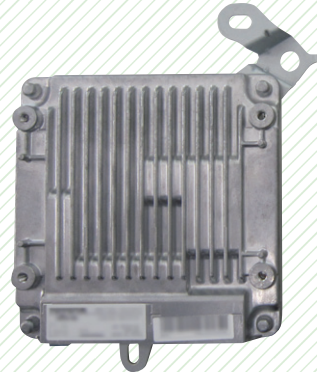
自動車メーカー様向けマルチアングルビジョン用ECUについて、部品の小型化やシャーシの材料変更などにより、前モデル比43%の小型化と35%の軽量化を達成しました。



車両周辺を直接確認してください  
マルチアングルビジョン



体積：538cm<sup>3</sup>  
重量：730g

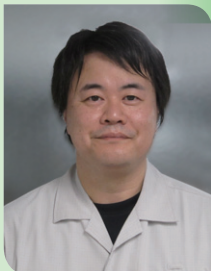


体積：308cm<sup>3</sup>  
重量：476g

43%削減

35%削減

### Voice 従業員の声



車両周辺の安全確認を支援するマルチアングルビジョンにおいては近年、安全性はもちろん、環境に関わるニーズが高まっています。そこで、高性能かつ小型・軽量化を実現する製品を開発しました。開発にあたり、従来の安全性の考え方を踏襲しつつ、マイコンの統合、小型部品の採用を図るなど、すべてのシステム、部品を見直しました。

今後は自動駐車・自動運転などの運転支援システムの開発においても、この経験を活かしていきたいです。

VICT技術部 第四技術部 第二技術チーム 吉本卓己